

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0310/450510/04/01	事業の種類	4			
年度	19	事務事業名	消防フェスタ事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		消防操法大会等事業		担当部課名	消防本部 総務課			
政策名		すこやかに暮らせる、心かようまちづくり						
施策名		消防・防災体制		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・消防団員						
	誰(何)を対象として	市民・消防団員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団員が中心となり消防フェスタを開催することにより、相生市の活性化を図るとともに、活力ある消防団の存在をアピールし消防団に対する若年層の関心を高め団員を確保・育成する。また、市民の防災意識の高揚を図ることにより、住民と一体となって地域防災の主体的な役割を果たすことができる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民の防災意識の高揚と消防団の活性化を目的とした市民参加型の防災イベント (平成19年度を第1回とし、隔年開催)				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	来場者数	人			3,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員			-	0.085	#####		-	
	主幹以下職員			-	2.900	#####		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	0	0	-	25,972,485	#####	0	-	
	事業費			-	1,000,000	#####		-	
	合計	0	0	-	26,972,485	#####	0	-	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	1,000,000	#####		-	
	一般財源	0	0	-	25,972,485	#####	0	-	
合計	0	0	-	26,972,485	#####	0	-		

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-	1	#####		-	
	実績			-	1	#####		-	
指標名2		来場者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	2,000	#####		-	
	実績			-	3,000	#####		-	

【効率性】

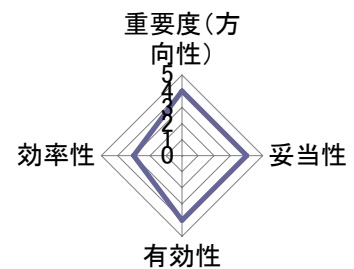
指標名1		来場者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		『人件費』+『事業費』÷『来場者数』							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績			-	8,990	#####		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市民の防災意識の高揚及び消防団の活性化が図れた。	4	4
	市民ニーズ	3,000人の来場があったことで、防災意識の高揚が図れた。		
有効性	期待する目標	消防団主体から市民主体のイベントに移行していきたい。	4	4
	市民サービス	市民体験型の防災訓練が実施できた。		
効率性	コストの節減	事業費100%助成事業で実施できた。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	市民サービス	開催時期・時間を検討し、市民が参加しやすい環境を整備する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	21年度以降助成金等特定財源を確保できるよう検討する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

21年度第2回開催に向けて効率的に事務を進める。

検討の有無	-
総合指標	21